

湯けむりカップ ルール（ローカルルール含む）

主要点を抜粋してあります。正しい解釈で競技が進められるよう、一読をお願いします。

1 審判について

- ① 主審はベンチ側、第2審判が反対側となる。
- ② コーナーキックは、キックするのと反対側の審判がゴールラインにつく。
(キックする側の審判はコーナーアークから5m程度離れた場所につく)

2 得点について

- ①キックオフから直接得点することはできない。
- ②前後半終了のホイッスル前に
 - (1) シュートが放たれた
 - (2) 反則の累積による直接FK
 - (3) ペナルティキックがあった場合は、その結果を見てから終了とする。
→得点されたか否かを見極めてから主審の笛で終了する。

3 キックインについて

- ① タッチラインから25cm以内（ピッチ外）であればボールをタッチライン上に置かなくてもOK（ボールの静止は必要）。
- ②インプレイにならない場合はやり直しもある。
(4秒カウントは継続される)

4 4秒ルール

- ①コーナーキックで4秒ルールを適用した場合は、相手側のゴールクリアランスで再開する。

5 スライディングタックル

- ①サッカーと同様可能となった。ただし床面であることを考慮して、不用意・無謀・過剰のレベルを判断する必要がある。

6 ゴールキーパーの制限

- ①ゴールキーパーから出たボールは、相手競技者に触れない限り、自陣内のGKに戻すことはできない。
(相手に触れた後は自陣内でも戻せる。相手陣内にいる場合もOK。)
- ②ゴールクリアランスが守備側の競技者によってインプレイにならない場合は、ゴールクリアランスを再び行う。なお、4秒カウントは継続される。
- ③3種以下の特例として、GKからのボールは直接ハーフウェイラインを越えられない。
以前は、投げたボールとパントキックが対象、
現在は、ドロップキック、ピッチ面にあるボールを蹴った場合も対象になる。

7 ゴールキーパーの交代

- ①ピッチ内の競技者がGKと交代する場合は試合の停止中、審判員に通告してから行う。